
慢性期看護実習

辻 あさみ 教授
上 田 伊津代 講師
山 口 昌 子 講師
阿 部 雅 助教

3年次後期～4年次前期

3単位・135時間

【概要・目標】

慢性の病気をもって生きる患者と家族が、健康レベルに応じて生活を調整し、その人らしいQOLを維持・向上できるための看護を実践する基礎的能力を養う。

- 1) 患者の発達段階と発達課題について説明できる。
- 2) 患者の状態を病態、検査や治療から説明できる。
- 3) 患者の状態及び治療から生じる身体的苦痛とそれに関する要因を説明できる。
- 4) 患者及び家族に生じている心理的苦痛とそれに関する要因を説明できる。
- 5) 患者の状態及び治療から生じる身体的苦痛に対応した援助を実施できる。
- 6) 患者及び家族の心理的苦痛に対応した援助を実施できる。
- 7) その人らしさを尊重した方法で、援助を実施できる。
- 8) 患者や家族の反応に応じて、援助を実施できる。
- 9) 患者及び家族に必要な社会資源を説明できる。
- 10) 患者及び家族が直面する問題を対処するために、必要な保健医療チームメンバーの役割について説明できる。
- 11) 保健医療チームメンバーと連携して、看護を実施できる。
- 12) 看護職としての専門的な態度を身につけることができる。

【授業内容・スケジュール】

1)受け持ち患者

原則として、1名の患者を受け持つ。

実習スケジュールなどの詳細については別途実習要項を配布する。

【評価】

評価の配分は、目標到達（60%）、記録内容（20%）、実習参加状況（20%）で総合評価する。
記録内容には実習記録および提出した事前学習、資料を含む

【推薦参考図書】

適宜紹介する
